人間学
(Philosophical Anthropology)

担当教員
准教授　坂本 尚志

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
人と文化	2年次 前期	講義	1.5単位	選択

【概要】

「人間とは何か」という問いについて、哲学を出発点にどのように考えることができるかを、人間と社会を構成するさまざまな要素を視野に入れて考察する。その手段として、哲学的問題について記述する手法の一つである哲学小論文（ディセルタシオン）の技法を習得することを目指す。哲学小論文の実践は、哲学の概念を用いつつ、対立意見についても十分な目配りを行った上で、論理的一貫性を持った意見を明快な文章で書けるようになることを目的とする。

【授業の一般目標】

人間の多様な側面について、哲学がどのように考えてきたかを説明できる。

哲学のさまざまな問題について、哲学的な概念を用いて、対立する意見を尊重しつつ、自分の意見を明確な日本語で表現できる。

【準備学習(予習･復習)】

この講義では主に復習に時間を使うこと。

毎回の配布資料を授業後に読み直し、理解の行き届かない部分についてはまず自分で考えてみること。それでもわからない部分については、友人同士で議論したり、教員に質問したりすること。また、授業中に配布する哲学に関する著作のコピーもできるだけ詳細に読んでおくこと。

この講義は哲学小論文作成を目標としているので、作成方法やそこで書くべき内容などについて、自分なりに整理して理解しておくこと。教科書には哲学小論文作成法について、授業とは異なった視点からまとめられているので、そちらも参考にすること。

準備学習の所要時間は各回の内容や時期によって異なるので一律の時間を決めることはしないが、平均すると60分程度を必要とする。

【学習項目･学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	哲学的に考え、書く	坂本	講義の概要、到達目標について説明できる。 哲学における考え方、議論の仕方について説明できる。 哲学小論文の基本的構成要素、記述法について説明できる。
2	人間の意識	坂本	意識する存在としての人間について説明できる。 哲学小論文の構成案の特徴について説明できる。
3	自己と他者	坂本	他者とのかかわりにおいて人間の存在を説明できる。 問題分析の方法を理解する（1）。
4	人間と欲望	坂本	欲望する存在としての人間について説明できる。 問題分析の方法を理解する（2）
5	労働と技術	坂本	労働、技術、自然との関係において人間について説明できる。 問題の導入の方法について説明できる。
6	芸術と人間	坂本	人間にとっての芸術の意味について説明できる。 問題の展開の方法について説明できる（1）。
7	歴史と人間	坂本	歴史的存在としての人間について説明できる。問題の展開の方法について説明できる（2）。
8	真理・証明・解釈	坂本	知を生産するさまざまな手法について説明できる。結論の書き方について説明できる。
9	正義について	坂本	人間にとって正義とは何であるかについて説明できる。 哲学小論文の構成案の作成法について説明できる。
10	中間課題	坂本	哲学小論文の構成案を作成する。
11	自由について	坂本	人間にとって自由とは何であるかについて説明できる。 構成案から哲学小論文を作成する方法について説明できる。
12	幸福について	坂本	人間にとって幸福とは何であるかについて説明できる。 哲学小論文の評価基準について説明できる。

13	義務について	坂本	義務との関係で人間について説明できる。
14	正常と健康	坂本	正常／異常、健康／病気という対概念との関係で人間について説明できる。
15	総括・まとめ		

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	『バカロレア幸福論 フランスの高校生に学ぶ哲学的思考のレッスン』	坂本尚志	星海社
参考書	授業中に指示する。		

【成績評価方法･基準】

レポート90%、中間課題10%

【評価のフィードバック】

成績評価の講評については、個別に対応する。